

(別紙 1)

研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 報告書の作成要領

本助成事業の成果は「報告書の全文」として集録し、助成者および財団関係者に配布します。
「研究・事業の要約」及び「ボランティア活動報告」は、財団ホームページ及び集録集の冊子に掲載します。報告書の全文は CD-ROM に集録します。

1. 報告書の様式

- 用紙の大きさ：A4、Word 形式で作成してください。（記載例参照）
- 余白：上下左右すべて 30mm とし、1 ページあたり 40 字×40 行を基本とします。
- フォント・フォントサイズ
 - テーマ：14 ポイント（MS ゴシック体）、所属・氏名：10.5（MS 明朝体）、
本文：10.5（MS 明朝体）

2. テーマ・所属・氏名記載欄について

報告書の冒頭には、「テーマ・所属・氏名記載欄」を設けてください。
この欄には以下を記載します。

- 研究・事業・ボランティア活動のテーマ（表題）
 - 申請者の所属・氏名
 - 共同研究者（または共同事業者、共同ボランティア）の所属・氏名
- ※テーマ・所属・氏名は枠で囲み、指定のフォント・サイズに従って記載してください。

3. 章立て・番号付けについて

報告書の構成は、階層番号を用いて整理してください。

章・節・項・目は以下の順序で番号付けします。

- 第 1 階層（章）：1. 2. 3. 4. ...
- 第 2 階層（節）：(1) (2) (3) (4) ...
- 第 3 階層（項）：1) 2) 3) 4) ...
- 第 4 階層（目）：① ② ③ ④ ...

※必要に応じて階層を使い分け、論理的に整理してください。

※番号付けは必ず半角数字・記号を用い、統一した形式で記載してください。

4. 報告書の記載順

研究報告書

緒言 → 目的 → 方法 → 結果 → 考察 → 結論 → 研究の成果 → 引用文献
→ 成果の公表（学会発表・論文投稿等）の順に作成してください。

事業報告書

緒言 → 事業目的 → 事業方法 → 事業結果 → 考察 → 結論の順に作成してください。

ボランティア活動報告

はじめに → 取り組みの内容 → 結果 → まとめの順に作成してください。

5. 文献の記載方法

- 文献は本文中で引用されたもののみを記載してください。
- 記載順序は本文での引用順とし、バンクーバー方式を採用してください。引用箇所には肩番号を付して照合してください。
- 著者氏名は原則3名までとし、4名以上の場合は「他」または「et al.」としてください。

記載例

雑誌論文：著者名；論文タイトル、雑誌名、巻（号）：頁-頁、発行年（西暦）。

単行本：編著者名；書名（版）、頁-頁、発行所、発行年（西暦）。

6. 報告書枚数

研究報告	15枚以内（図・表・写真含む）、
事業報告	6枚以内（図・表・写真含む）
ボランティア活動報告	3枚以内（図・表・写真含む）

7. 「報告書」について

- ① 写真および図表はカラーで作成してください。
- ② ページ数は入れないでください。
- ③ 研究報告のうち、「成果の公表」は集録集には掲載せず、財団の記録といたします。

8. 提出方法

- ① 別紙1 助成事業実績報告書・会計報告書について
各1部をプリントアウトし郵送にて財団宛に提出してください。
- ② 研究と事業の報告書・要約、ボランティア活動の報告書について
報告書はPDF等に変換せず、必ずWord形式のままメール添付にて提出してください。
- ③ 提出後に修正が必要な場合は、修正済みの全文をメール添付で再提出してください。
修正箇所が明確にわかるよう、マーキング等を施してください。

9. 提出締め切り 令和8年5月29日(金)

(別紙 1-2) 報告書記載例 (研究・事業)

記載例

テーマ・所属・氏名は
枠で囲む

一人暮らし高齢者における機能訓練事業の
身体・心理社会的効果の検討 (MS ゴシック 14P)

研究者 (事業者)

○○○病院 (MS 明朝 10.5P)

○○○○

共同研究者 (共同事業者)

○○県立看護大学看護学部

○○○○、○○○○

○○市立○○医療センター

○○○○、○○○○

*章立てフォントサイズ：以下参照

1. 緒言 (MS 明朝 12P 太字)

(背景・意義) ······ 日常生活の自立を助けることを目的^{1,2)}とした。

本文 (MS 明朝 10.5P)

2. 目的 (MS 明朝 12P 太字)

····· (本文は MS 明朝 10.5P)

3. 研究方法 (MS 明朝 12P 太字)

(1) 対象 (MS 明朝 10.5P)

4. 結果 (MS 明朝 12P 太字)

····· (本文は MS 明朝 10.5P)

5. 結論

····· (本文は MS 明朝 10.5P)

6. 研究の成果

····· (本文は MS 明朝 10.5P)

7. 引用文献

1) ······ (本文は MS 明朝 10.5P)

8. 成果の公表 (学会発表・論文投稿等の予定を記載)

····· (本文は MS 明朝 10.5P)

(別紙 1-3) 報告書記載例 (ボランティア活動)

記載例

テーマ・所属・氏名は
枠で囲む

在宅で過ごす重症心身障がい児を対象とした
レクリエーション (MS ゴシック 14P)

NPO 法人○○○ (MS 明朝 10.5P)

○○○○

*章立てフォントサイズ：以下参照

1. はじめ (MS 明朝 12P 太字)

・・・・・・・・・ (本文は MS 明朝 10.5P)

2. 取り組みの内容 (MS 明朝 12P 太字)

・・・・・・・・・ (本文は MS 明朝 10.5P)

3. 結果 (MS 明朝 12P 太字)

・・・・・・・・・ (本文は MS 明朝 10.5P)

4. まとめ (MS 明朝 12P 太字)

・・・・・・・・・ (本文は MS 明朝 10.5P)